

【基本目標】上天草市への人の流れをつくる
事業名：遊ぶ×働く×移住する上天草関係人口創出事業
(令和3年度～令和5年度)
(令和5年度事業費：23,715千円/11,857千円)

事業の概要

◆本事業は、交流人口の拡大を目的として、ワーケーション実施のためのプラン造成、ニーズ調査及び企業向けに情報発信を行うもの。

また、ワーケーションプランの充実を図るためジップライン整備事業、フィルムコミッション事業、ブルーツーリズム事業を通じ、シティプロモーションを実施する。

<主要事業>

- ①ワーケーション推進事業(1)「遊ぶ×働く」推進事業 (2)「働く×住む」推進事業
- ②フィルムコミッション事業③ブルーツーリズム事業
- ④まちづくり運営団体の組織強化事業

担当課 評価

B

- ①(1)キャンプ場等における整備を実施した。
- ①(2)市内に拠点を有していない企業からのワーケーション体験の受入や受入施設の調査等を行った。
- ②婦人会及び登立小学生を対象に、本市で撮影された「島のシーグラス」上映会を開催。また、郷土愛醸成事業として、上天草高校生を対象に、年2回以上映像関連の専門家を講師として招聘。映像づくりやフィルムコミッション事業についての授業を実施した。
- ③釣りを軸にした関係人口創出事業として、R4年度に認定した上天草市公式釣り人とともに、市の釣りを盛り上げるイベント「釣りフェスin上天草」を開催した。上天草「釣×食×泊」実施体制構築事業においては、地域の事業者とともに釣り、食事、宿泊等を一体で体験できるサービス「天草つろう旅」の実施体制を構築した。
- ④まちづくり運営団体のあり姿を導き出すため、関係者への聞き取り調査や地域おこし協力隊等による定例会、先進事例の視察研修等を開催した。

改善（令和6年度における取組など）

- ①(1)維持管理に伴う整備を行いつつ、森林公園全体の魅力について情報を発信しながら、さらなる利用者の増加を図る。ジップラインの早期完成と令和6年度開業に向け、スタッフ育成事業等を実施する。
- ①(2)ワーケーションの目的に応じた情報提供の拡充等受入態勢の整備を推進していく。
- ②市外に向けては知名度の向上、市内に向けては郷土愛の醸成や新たなまちづくりに向けた取組を実施していく。
- ③天草つろう旅のプロモーション及び事務局の支援を行い、利用者増につなげていく。
- ④令和7年度からのGワークスの組織化に向け、引き続き関係者で協議検討を行うとともに、令和6年度から新たな「地域おこし協力隊制度を活用した地域課題解決プロジェクト」に取り組むこととする。

推進会議 評価

B

- ・サテライトオフィス設置の相談件数以外は、ほぼ水準を満たしている
- ・サテライトオフィス設置そのものが本当に必要なのかを見直して欲しい
- ・上天草市の自然環境や立地を活かした着地型観光を進めて欲しい

企画政策部 企画政策課

重要業績評価指標（KPI）

◆ワーケーション利用者数及び白嶽森林公園利用者数

事業開始前 1,637人（ワーケーション0人、白嶽森林公園1,637人）

	R3	R4	R5
目標値（前年比）	1,812（+175）	1,997（+185）	7,197 （+5,200）
実績値（前年比）	2,551（+914）	2,832（+281）	6,127 （+3,295）
達成状況（前年比）	○（○）	○（○）	×（×）

◆移住アンケートにおける移住の決め手が「自然環境」「メディア」を選んだ人の割合 事業開始前 35%

	R3	R4	R5
目標値（前年比）	37（+2）	41（+4）	49（+8）
実績値（前年比）	31（△4）	100（+69）	54（△46）
達成状況（前年比）	×（×）	○（○）	○（×）

◆サテライトオフィス設置検討の相談数 事業開始前 0件

	R3	R4	R5
目標値（前年比）	3（+3）	12（+9）	27（+15）
実績値（前年比）	1（+1）	0（△1）	0（0）
達成状況（前年比）	×（×）	×（×）	×（×）

◆メディアからの相談件数 事業開始前 0件

	R3	R4	R5
目標値（前年比）	5（+5）	20（+15）	45（+25）
実績値（前年比）	11（+11）	20（+9）	31（+11）
達成状況（前年比）	○（○）	○（×）	×（×）

【基本目標】上天草市への人の流れをつくる
事業名：サーキュラーアイランドプロジェクト
(令和5年度～令和7年度)
(令和5年度事業費：7,604千円/3,590千円)

事業の概要

◆本事業は、持続可能なまちの実現を目指し、定住を促進することを目的としてWell-being（満足した生活を送る暮らし）が高まるような取組を行うもの。また、環境、経済、社会の豊かさを充実させWell-beingを高めるため維和島サーキュラーアイランドプロジェクト事業、上天草市ブルーカーボンクレジット算定実証事業、生命の海プロジェクトを実施する。

<主要事業>

- ①維和島サーキュラーアイランドプロジェクト事業
- ②上天草市ブルーカーボンクレジット算定実証事業

担当課 評価

B

- ① 島民及び市外からの参加者によるSDGsワークショップ、廃材や端材を使った取組、農水物のブランディング、ブルーカーボンの体験イベントを実施した。
- ②今後市内の団体がJブルークレジットへの認証申請を行うことを見据え、ブルーカーボン量を効率的かつ効果的に把握する方法を検討し、マニュアルを作成した。

改善（令和6年度における取組など）

- ①維和島サーキュラーアイランドプロジェクト事業
令和6年度においては、場所を湯島に移し、令和5年度と同様の取組に加え、小中高生が興味を示し、積極的に参加するようなイベントを実施する。令和7年度には、市内全域に波及させることを目的として、過去2年間の取組内容を関係者に発表してもらうなどのイベント（上天草フェア）を実施する予定。
- ②上天草市ブルーカーボンクレジット算定実証事業、③生命の海プロジェクト
ブルーカーボン量把握に関するマニュアルは市HPにて公開し、また、新たにブルーカーボン創出活動支援助成金を創出することで、市内でのブルーカーボン創出活動を支援する。

推進会議 評価

B

- ・上天草高校から地元就職する方が増えたことが素晴らしい
- ・初年度なので次年度以降の取組みが大切
- ・維和島でも継続して活動して欲しい

企画政策部 企画政策課

重要業績評価指標（KPI）

◆上天草高校生の就職者のうち地元就職者数

事業開始前 10人

	R5	R6	R7
目標値（前年比）	5（+5）	10（+5）	15（+5）
実績値（前年比）	14（+4）	—	—
達成状況（前年比）	○（×）	—	—

◆市内で排出される家庭ごみ（可燃ごみ）の一人当たりの削減量 事業開始前 718g

	R5	R6	R7
目標値（前年比）	6.30（+6.30）	4.95（+4.95）	3.60（+3.60）
実績値（前年比）	△22.0（△22.0）	—	—
達成状況（前年比）	×（×）	—	—

◆Jブルークレジットへの申請プロジェクトの件数

事業開始前 0件

	R5	R6	R7
目標値（前年比）	1（+1）	2（+1）	3（+1）
実績値（前年比）	0（0）	—	—
達成状況（前年比）	×（×）	—	—



A 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
D 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

B ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
E 目標値又は事業自体の抜本的見直しを要する。

C 目標をやや下回っており、要因の分析を要する。

【基本目標】上天草市への人の流れをつくる
事業名：湯島交流拠点施設整備事業

事業の概要

◆湯島の移住定住を促進するため、島民及び移住希望者におけるテレワーク等の新たな働き方を試すシェアオフィス及び移住お試し施設の維持管理を行う。

<主要事業>

湯島交流施設「シーグラス」

担当課
評価

A

湯島への移住を希望する方が利用できる「お試し居住スペース」、仕事や会議等どなたでもご利用できる「シェアオフィススペース」、「公共トイレ」の3つの機能をあわせ持った施設であり、R2年度から利用を開始し、R5年度で4年目を迎えた。

改善（令和6年度における取組など）

- ・熊本県が主催する県内のサテライトオフィスやコワーキング施設とのネットワーク会議を活用し、各施設と連携を図り認知度を向上させる取組を行う。
 - ・定期的にイベントを開催し、多目的に利用ができることを周知する取組を行う。
- また、本イベントを通して島内の方と交流が持てるよう企画を行う。

推進会議
評価

A

- ・委員からの意見の通りシェアオフィスの利用者数はまだまだ伸びる可能性がある
- ・認知度向上のためにP Rが必要
- ・湯島のチャレンジが上天草市の他の場所にも横展開してほしい

企画政策部 企画政策課

重要業績評価指標（KPI）

◆湯島への移住者数 事業開始前 5人

	R1	R2	R3	R4	R5
目標値（前年比）	5（0）	7（+2）	9（+2）	11（+2）	13（+2）
実績値（前年比）	6（+1）	8（+2）	12（+4）	13（+1）	14（+1）
達成状況（前年比）	○（○）	○（○）	○（○）	○（×）	○（×）

◆湯島交流拠点施設の利用者数 事業開始前 0人

	R1	R2	R3	R4	R5
目標値（前年比）	0	60（+60）	120（+60）	180（+60）	240（+60）
実績値（前年比）	0	7（+7）	59（+52）	140（+81）	375（+235）
達成状況（前年比）	－	×（-）	×（×）	×（○）	○（○）

◆湯島定期船入込客数 事業開始前17,988人

	R1	R2	R3	R4	R5
目標値（前年比）	17,988	18,888（+900）	19,888（+1,000）	20,988（+1,100）	22,188（+1,200）
実績値（前年比）	23,760（+5,772）	20,621（△4,284）	24,966（+4,345）	24,350（△616）	28,251（+3,901）
達成状況（前年比）	○（○）	×（×）	○（○）	○（×）	○（○）

